

## 令和3年度実施事業報告

支援対象等	実施事業名等	事業内容	
大学 支援 事業	学部学生	保険加入支援事業	学部新入生の内、教育後援会入会者1,392名に対して「学生教育研究災害傷害保険(「学研災」)」「学研災付帯賠償責任保険(「付帯賠償」)」の4年分(医学部は6年分)の加入料を負担。合計で670万円。
		短期留学支援事業	国際センター主催事業の海外留学 学部学生に対し、教育後援会入会者には短期留学(語学研修を含む)にかかる学研災付帯海外留学保険料を補助。2件17.6万円
		キャリアデザイン 就職支援事業	就職手帳の作成等支援 87万円。
		クラブ・サークル 支援事業	活発な活動を行っているクラブ・サークルへの支援。 61団体 活動支援金 596.4万円。新型コロナウイルス感染症による活動制限等で16.2万円返金。  課外活動団体における新大学開学に伴う準備費用を支援 96.3万円。うち9.6万円返金
		学生行事助成事業	三大学学生研究討論会及び留学生会の学生行事2団体に対して助成。50万円。 新型コロナウイルス感染症のためボート祭、三商戦、府大戦、大学祭が中止。(前年助成分返金125万円)
		クラブ・サークル 特別支援事業	本館地区スポーツハウスミーティングルーム及び旧教養地区新部室等横ガレージの改修工事を行ない、体育会系・文科系のクラブ・サークルが有効活用できるように整備。 800万円
		TOEIC・TOEFL・IELTS 受験料補助事業	TOEIC(26名)、公開TOEIC(334名)、TOEFL(4名)、IELTS(7名)、英検1級(2名)の受験者延べ373名への受験料補助 計135.7万円。 (補助額 TOEIC2000円、公開TOEIC3000円、TOEFL・IELTS5000円、英検1級5000円 補助年2回限り)
		顕彰事業	①学修奨励賞37名 大学選考の成績優秀者2年次学生に副賞を授与 計18.5万円(図書カード@5,000×37名) ②学業成績優秀賞9名 大学選考の最優秀成績習得の4年次生(医学科は6年次生)に副賞を授与 計67.5万円(高級腕時計) ③課外活動賞 次の各受賞団体と個人に表彰状と副賞を授与 最優秀課外活動賞 1団体・1個人 優秀課外活動賞 4団体・9個人 優秀課外活動新人賞 1個人 資格試験優秀成績賞 15個人 (公認会計士3名、国家公務員採用総合職試験1名、実用英語技能検定1級1名、公開TOEIC900点以上10名) 社会貢献活動賞 2団体 計122万円
		学生国際交流事業	新型コロナウイルス感染症対策により、例年大学と共催で行っていた留学生と日本人との国際交流会を春・夏ともに中止したが、代わりに留学生向け勉強会、トークイベント開催費の補助並びに本学留学生対象にお米の無料配布をおこなった。

大学 支 援 事 業	学部学生	学部学生旅費等補助事業		国内1万円、国外5万円を上限に学会・研究会等での論文発表に要する旅費等の補助を国内8名の教育後援会入会者に対して実施、補助額合計8万円。新型コロナウイルス対策による返金7万円。
		エッセイ活動支援事業		学生の社会貢献活動や社会的課題解決の取組を促進する活動に大学と共催で支援を実施。7団体合計155.7万円（返金43万円）
		100円朝食支援事業		学生に朝食を食べる習慣をつけ健康で健全な学生生活を援助するため、生協の協力でメニューを作成し、例年は、杉本とあべので実施。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により中止。
		その他支援事業		学生への助成支援 ①「教育再生加速プログラム」支援 100万円 ②「大阪市立大学附属植物園」ベンチ等寄贈 109.9万円 ③しきっちゃオ助成 6.2万円 ④文化交流センタービデオ会議システム寄贈 18.7万円 ⑤スポーツフェスタ（OCUSA）支援 100万円 ⑥全学共通教育科目授業への支援など。 36万円
	大学院学生 教員	保険加入支援事業		大学院新入生の内、教育後援会入会者142名に対して「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）、「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠償）の加入料負担。合計39万円。
		大学院学生旅費等補助事業		国内5万円、国外10万円を上限に学会・研究会等での論文発表に要する旅費等の補助を国内22名、国外7名の教育後援会入会者に対して実施。採択率は国外・国内とも100%補助額合計7.8万円
		女性研究者支援事業		女性研究者への支援事業として、女性研究者奨励賞（岡村賞）で、特別賞、大学院生奨励賞・博士研究員奨励賞を表彰された方に副賞を授与 計20万円
	学部・研究科	顕彰事業	優秀教育賞	①橋本 智也 大学教育センター・講師 教育実践や教育方法の開発および教育開発支援室の学習支援企画、初年次教育の運営など全学的な教育の充実に大きく貢献された。 ②植松千代美 理学研究科准教授 学生の主体的学びを引き出す工夫を重ねるなど卓越した教育理念と実績に裏打ちされた優れた授業を行ってきたことが高く評価された。 計20万円（各10万円）
			優秀テキスト賞	①高橋 英治・教授（法学研究科） 『プリンシプル会社法』 ②北村 昌史・教授（文学研究科） 『はじめて学ぶドイツの歴史と文化』 ③江原 省一・准教授（医学研究科） 『王道 循環器診療のエッセンスを学ぶ白のカルテ：循環器アタマの土台作りを目指す研修医、指導医、救急診療にかかわるすべての方のための』 ④三木 幸雄・教授（医学研究科） 『即戦力が身につく脳の画像診断』 ⑤辻 幸一・教授（工学研究科） 『機器分析ハンドブック 第3巻 個体・表面分析編』 ⑥石山 央樹・准教授（工学研究科） 『改訂版 図説 建築構法』 ⑦天野 景太・准教授（文学研究科） 『都市・地域観光の新たな展開』 計35万円（各5万円）

大学支援事業	教職員	学部・研究科学生支援事業	①文学研究科 文学研究科フォーラム 2021 の開催を通じて、院生の研究発展と内外への発信支援、特に「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の実施を視野に、異分野間の交流と分野横断的な研究発展の支援 31.4万円 ②理学研究科 化学セミナーで使用する関数電卓の購入費用の一部を支援。 8.7万円 ③医学研究科 医学部医学科3年生修業実習における海外派遣実習に係る旅費の一部を支援。 49万円
	環境整備	夢基金寄附事業	全天候型グラウンド整備 1,000万円
			ラストイチダイ記念事業 1,000万円
		学内環境整備事業	1号館前芝生広場の整備事業（本館地区前庭デザイン提案ワーキング）。 500万円
	図書整備	学生選書助成事業	学術情報総合センターの学生選書事業としてセンター及び医学部分館に図書を寄贈し、センター2階には教育後援会寄贈図書コーナーと就職関連図書コーナーを設けている。 100万円。
	新型コロナウイルス対策支援・体育館等空調設備支援		食堂に飛沫パーテーションの支援、体育館・更衣室等大型扇風機の支援及び、武道場空調設備工事にかかる経費を支援 1,371万円
会員サービス事業	保護者	新入生保護者懇談会	5月25日(土) 第1部：全学懇談会 第2部：学部別懇談会 <b>新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のためオンライン開催</b> オンライン配信申込件数347件 チラシ作成費7.9万円（前年度決算）・講演料等 9万円
		保護者就職説明会	9月11日(土) 『あなたは就職活動の良きサポーター』 第1部：「市大の就職状況」 第2部：「就活を終えた現役学生さんが語る就活秘話」 第3部：「保護者のための就職応援講座」 <b>新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じてオンラインによる開催</b> オンライン配信申込件数238件 チラシ作成・送料代 39.9万円
		保護者交流支援事業	第1企画 令和3年9月25日(土) 『「大阪の恩人」五代友厚を知る！』 (オンライン開催)参加者43名 第2企画 令和3年10月16日(土) 『Japanese Sake II 「酒造のまち神戸で酒造り見学と歴史散歩」』(菊正宗・浜福鶴)参加者28名 第3企画 令和3年11月13日(土) 『「あなたも1日市大生！」人気講義体験とキャンパスツアー』(大阪市立大学杉本キャンパス)参加者50名 第4企画 令和3年11月27日(土) 『市大植物園散策ー森の植物園へようこそー』 (大阪市立大学附属植物園)参加者54名 合計 99.4万円(チラシ作成・送料代含む)
	全会員	情報発信サービス	教育後援会ホームページを運用し、教育後援会支援事業の実施案内・募集案内を掲載するとともに、書類の電子化により申請手続きの簡素化および迅速化を図る。
		会報の発行	3月上旬に「教育後援会報 第8号」発行 63.3万円(送料含む)
	保護者会員 支援会員 旧学友会員	電子メール利用サービス	旧学友会員に生涯メールアドレスを供与し、メール転送サービスを実施。